SAKATA INX…
Visual Communication Technology

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月5日

上場会社名　サカタインクス株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　4633　URL　http://www.inx.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 髙丸　博次
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長　(氏名) 安井　直久　TEL 06-6447-5822

四半期報告書提出予定日　平成22年11月12日　配当支払開始予定日　平成22年12月3日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	58,829	4.3	2,570	96.2	3,094	58.3	1,701	60.9
22年3月期第2四半期	56,430	△10.6	1,310	68.0	1,955	55.4	1,057	2.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	28.12	―
22年3月期第2四半期	17.47	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	85,473	35,285	40.5	572.21
22年3月期	86,199	35,974	41.1	585.76

(参考) 自己資本　23年3月期第2四半期　34,630百万円　22年3月期　35,450百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	―	6.00	―	6.00	12.00
23年3月期	―	6.00			
23年3月期(予想)			―	6.00	12.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無　無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	118,000	3.8	5,000	41.1	6,000	26.5	3,500	13.3	57.83

(注)当四半期における業績予想の修正有無　有

4. その他　（詳細は、【添付資料】5ページ「2. その他の情報」をご覧下さい。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　無
新規　―社　（社名　　）、　除外　―社　（社名　　）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　有
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更　有
② ①以外の変更　無
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	62,601,161株	22年3月期	62,601,161株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	2,080,664株	22年3月期	2,079,771株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	60,520,855株	22年3月期2Q	60,523,530株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】4ページ「（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．　当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．　その他の情報 …… 5
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 5
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 5
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 5
３．　四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報等 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11

※　当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定であります。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定であります。
・平成22年12月2日（木）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

※　上記説明会のほかにも、当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しております。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間の世界経済は、各国の経済対策の効果もあって、好調なアジアを中心に緩やかに回復しているものの、欧米では失業率が高水準で推移するなど、深刻な状況が続きました。日本経済は、輸出の増加や企業収益の改善などで持ち直してきているものの、円高が進行し、デフレ基調が継続するなど依然として厳しい状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループはコア事業である印刷インキ事業において、アジアを中心とした各拠点での拡販に注力し、環境配慮型製品の開発やコスト削減を図りました。また、機能性材料分野では、昨年に組織再編を行ったインクジェットインキをはじめとして、トナー、カラーフィルター用顔料分散液、機能性コーティング剤の開発・拡販に取り組みました。

売上高は、円高による為替換算の影響を受けましたが、アジアをはじめとする各地域で印刷インキの拡販が進み、機能性材料の販売も好調であったことから、588億２千９百万円（前年同期比4.3%増加）となりました。

利益面では、印刷インキ及び機能性材料の拡販が進んだことなどから、営業利益は25億７千万円（前年同期比96.2%増加）、経常利益は30億９千４百万円（前年同期比58.3%増加）、四半期純利益は17億１百万円（前年同期比60.9%増加）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

（単位：百万円）

	売上高					営業利益又は営業損失（△）		
	前期	当期	増減額	増減率	(※)実質	前期	当期	増減額
印刷インキ・機材（日本）	30,093	30,154	60	0.2%	0.2%	1,333	1,713	380
印刷インキ（アジア）	5,527	6,569	1,041	18.8%	23.3%	367	260	△ 107
印刷インキ（北米）	13,094	13,436	341	2.6%	8.0%	35	171	135
印刷インキ（欧州）	2,518	2,748	230	9.1%	16.0%	△ 126	104	230
機能性材料	2,571	3,207	636	24.8%	28.1%	△ 327	227	554
その他	5,129	5,403	273	5.3%	5.3%	△ 4	33	37
調整額	△ 2,504	△ 2,690	△ 185	―	―	32	60	28
合計	56,430	58,829	2,398	4.3%	6.4%	1,310	2,570	1,260

(※)実質増減率：海外連結子会社の為替換算の影響を除いた増減率

（セグメント区分の変更について）

第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」を適用しており、セグメントの区分を従来から変更しております。新セグメントの詳細につきましては、10ページの「（５）セグメント情報等」に記載しております。なお、前期の数値につきましては、新セグメントの区分に組み替えて表示しております。

①印刷インキ・機材（日本）

印刷情報関連では、メディアの多様化や広告の低迷により需要が減少する傾向にある中、新聞インキはやや低調であったものの、オフセットインキは販売体制の強化により拡販が進みました。パッケージ関連では、全体として猛暑による飲料などの加工食品向けの需要増加が大きく影響し、グラビアインキは好調に推移しましたが、フレキソインキは天候不順による生鮮食品向けの需要減少の影響もあり前年同期並みとなりました。機材につきましては、印刷製版用材料が国内印刷市場の低迷により低調に推移し、印刷製版関連機器は設備投資抑制の影響を受けて落ち込みました。これらの結果、売上高は301億５千４百万円（前年同期比0.2%増加）となりました。

利益面では、印刷インキの販売数量が増加したことに加え、貸倒費用が減少したことなどから、営業利益は17億１千３百万円（前年同期比28.6%増加）となりました。

②印刷インキ（アジア）

主力のパッケージ関連のグラビアインキが、インド、インドネシア、ベトナムにおいて好調に推移しました。売上高は、円高による為替換算の影響を受けた結果、65億６千９百万円（前年同期比18.8%増加）となりました。

利益面では、販売数量が増加したものの、原材料価格の上昇やインドにおける新工場の償却費などのコスト増加に加え、前年はインドネシアにおいて為替変動（対ドルでルピア安）に伴う一時的な利益が計上されたことが減益要因となり、営業利益は２億６千万円（前年同期比29.2%減少）となりました。

③印刷インキ（北米）

オフセットインキは拡販を進めたものの、メディアの多様化による需要減の影響を受けて低調に推移しました。主力のパッケージ関連では、メタルインキは低調に推移しましたが、フレキソインキは需要が持ち直してきました。売上高は、円高による為替換算の影響を受けた結果、134億３千６百万円（前年同期比2.6%増加）となりました。

利益面では、人件費や貸倒費用などのコストが増加したものの、販売数量の増加により、１億７千１百万円の営業利益（前年同期比383.3%増加）となりました。

④印刷インキ（欧州）

主力のパッケージ関連で、メタルインキ、グラビアインキの需要が持ち直してきました。売上高は、円高による為替換算の影響を受けた結果、27億４千８百万円（前年同期比9.1%増加）となりました。

利益面では、販売数量の増加に加え、スペインの本社工場（グラビアインキ）の稼働による原価低減もあり、１億４百万円の営業利益（前年同期は１億２千６百万円の営業損失）となりました。

⑤機能性材料

デジタル印刷分野では、トナーは低調であったものの、インクジェットインキは比較的好調に推移しました。画像表示材料分野では、カラーフィルター用顔料分散液が好調に推移しました。売上高は、円高による為替換算の影響を受けた結果、32億７百万円（前年同期比24.8%増加）となりました。

利益面では、売上高の増加に加え、貸倒費用などのコストが減少したことから、２億２千７百万円の営業利益（前年同期は３億２千７百万円の営業損失）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、売上債権やたな卸資産が増加したものの、時価評価により投資有価証券が減少したことに加え、円高による為替換算の影響を受けた結果、前連結会計年度末比７億２千５百万円（0.8%）減少の854億７千３百万円となりました。

負債は、買掛金や借入金が増加したものの、未払法人税等や繰延税金負債などが減少したことに加え、円高による為替換算の影響を受けた結果、前連結会計年度末比３千６百万円（0.1%）減少の501億８千７百万円となりました。

純資産は、四半期純利益を計上したものの、期末配当の実施や評価・換算差額等の減少などにより、前連結会計年度末比６億８千９百万円（1.9%）減少の352億８千５百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権やたな卸資産が増加したことに加え、法人税等の支払があったものの、税金等調整前四半期純利益、仕入債務の増加及び減価償却費などにより、17億３千４百万円の資金の増加となり、前年同四半期連結累計期間に比べ１千７百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、スペイン、北米などでの有形固定資産の取得などにより、12億７千３百万円の資金の減少となり、前年同四半期連結累計期間に比べ２億４千万円の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金が増加したものの、配当金の支払などにより、１億５千５百万円の資金の減少となり、前年同四半期連結累計期間に比べ７億８千２百万円の増加となりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は33億７千２百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億５千５百万円の増加となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間の業績は、印刷インキ及び機能性材料の拡販が順調に進んだことなどから、売上高、利益ともに前回予想を上回りました。通期の業績予想につきましては、印刷インキの販売数量が引き続き増加する見込みであるものの、円高の進行に伴って想定為替換算レートを見直したため、売上高は前回予想から変更はありません。利益につきましては、原材料価格の上昇などのコスト増加が見込まれるものの、第２四半期までの業績を受けて前回予想から上方修正しております。

なお、前提条件として、海外連結子会社の収益・費用の為替換算にあたって影響を受け易いUSドルにつきましては、第３四半期以降１ドル当たり平均で83.00円としております。

平成23年３月期通期連結業績予想の修正（平成22年４月１日～平成23年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）（平成22年5月12日）	118,000	4,800	5,500	3,300	54.53
今回修正予想（B）	118,000	5,000	6,000	3,500	57.83
増減額（B－A）	―	200	500	200	―
増減率（%）	―	4.2	9.1	6.1	―
前期実績（平成22年3月期）	113,669	3,542	4,742	3,089	51.05

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合については、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しております。

また、前連結会計年度末以降に経営環境等、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合については、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用しております。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ５百万円、税金等調整前四半期純利益は91百万円減少しております。

３． 四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成22年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,377	3,129
受取手形及び売掛金	33,793	32,958
商品及び製品	5,644	5,422
仕掛品	681	707
原材料及び貯蔵品	3,742	3,253
その他	2,096	2,150
貸倒引当金	△457	△429
流動資産合計	48,877	47,192
固定資産		
有形固定資産	19,710	20,607
無形固定資産		
のれん	574	841
その他	1,286	1,518
無形固定資産合計	1,860	2,360
投資その他の資産		
投資有価証券	12,472	13,700
その他	3,746	3,599
貸倒引当金	△1,194	△1,261
投資その他の資産合計	15,024	16,038
固定資産合計	36,595	39,006
資産合計	85,473	86,199
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,727	18,081
短期借入金	7,327	6,835
1年内返済予定の長期借入金	1,927	2,826
未払費用	2,368	2,603
未払法人税等	894	1,573
賞与引当金	978	1,015
その他	1,799	2,121
流動負債合計	35,022	35,058
固定負債		
長期借入金	11,422	11,033
退職給付引当金	2,540	2,504
資産除去債務	69	―
その他	1,132	1,627
固定負債合計	15,165	15,165
負債合計	50,187	50,224

（単位：百万円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成22年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,472	7,472
資本剰余金	5,875	6,102
利益剰余金	29,340	28,031
自己株式	△636	△636
株主資本合計	42,051	40,970
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	844	1,675
繰延ヘッジ損益	4	△0
為替換算調整勘定	△8,270	△7,195
評価・換算差額等合計	△7,421	△5,519
少数株主持分	654	523
純資産合計	35,285	35,974
負債純資産合計	85,473	86,199

（２）四半期連結損益計算書
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成21年４月１日 至 平成21年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）
売上高	56,430	58,829
売上原価	43,831	45,114
売上総利益	12,599	13,714
販売費及び一般管理費	11,289	11,143
営業利益	1,310	2,570
営業外収益		
受取利息	71	76
受取配当金	104	119
持分法による投資利益	408	469
その他	381	281
営業外収益合計	965	947
営業外費用		
支払利息	250	217
為替差損	－	176
その他	70	29
営業外費用合計	320	423
経常利益	1,955	3,094
特別利益		
受取保険金	86	－
特別利益合計	86	－
特別損失		
投資有価証券評価損	31	261
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	86
有形固定資産売却損	68	－
特別損失合計	100	347
税金等調整前四半期純利益	1,941	2,747
法人税、住民税及び事業税	881	1,131
法人税等調整額	△33	△99
法人税等合計	848	1,032
少数株主損益調整前四半期純利益	－	1,714
少数株主利益	35	13
四半期純利益	1,057	1,701

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成21年４月１日 至 平成21年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,941	2,747
減価償却費	1,247	1,227
のれん償却額	177	163
貸倒引当金の増減額（△は減少）	24	△20
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△27	36
賞与引当金の増減額（△は減少）	△10	△36
有形固定資産売却損益（△は益）	68	－
投資有価証券評価損益（△は益）	31	261
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	86
受取利息及び受取配当金	△175	△196
支払利息	250	217
持分法による投資損益（△は益）	△408	△469
受取保険金	△86	－
売上債権の増減額（△は増加）	△1,200	△1,292
たな卸資産の増減額（△は増加）	65	△986
仕入債務の増減額（△は減少）	136	1,851
その他	△186	△269
小計	1,847	3,321
利息及び配当金の受取額	219	262
利息の支払額	△254	△218
法人税等の支払額	△181	△1,723
保険金の受取額	86	92
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,717	1,734
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,043	△852
有形固定資産の売却による収入	64	5
投資有価証券の取得による支出	△302	△236
投資有価証券の売却による収入	3	－
貸付けによる支出	△273	△370
貸付金の回収による収入	180	172
その他	△142	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,514	△1,273
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△645	702
長期借入れによる収入	1,523	923
長期借入金の返済による支出	△1,392	△1,241
配当金の支払額	△363	△363
少数株主への配当金の支払額	－	△87
その他	△60	△89
財務活動によるキャッシュ・フロー	△938	△155
現金及び現金同等物に係る換算差額	232	△50
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△502	255
現金及び現金同等物の期首残高	3,673	3,116
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	23	－
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,194	3,372

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

【セグメント情報】

１．報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、主に印刷インキを生産・販売しており、国内においては当社の複数の事業部が、海外においてはアジア、北米、欧州の各地域を複数の現地法人がそれぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、所在国においてその周辺地域を含む包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。なお、国内では印刷インキのほか、印刷用機材を仕入・販売しております。

また、印刷インキ事業で培われた顔料分散等の基盤技術を応用・拡大したインクジェットインキ、トナー、顔料分散液等の機能性材料について、独立した事業セグメントを複数構成し、当社が中心となってグループ全体で収益基盤の拡大に注力しております。

したがって、当社グループは、コア事業である印刷インキ事業については、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「印刷インキ・機材(日本)」、「印刷インキ(アジア)」、「印刷インキ(北米)」及び「印刷インキ(欧州)」の４つを報告セグメントとしております。また、グループ全体で事業拡大を進めている「機能性材料」についても報告セグメントとし、合計５つを報告セグメントとしております。

報告セグメント	主要な製品及び商品
印刷インキ・機材(日本)	新聞インキ、オフセットインキ、フレキソインキ、グラビアインキ、印刷製版用材料、印刷製版関連機器
印刷インキ(アジア)	新聞インキ、オフセットインキ、メタルインキ、フレキソインキ、グラビアインキ
印刷インキ(北米)	オフセットインキ、メタルインキ、フレキソインキ、グラビアインキ
印刷インキ(欧州)	オフセットインキ、メタルインキ、フレキソインキ、グラビアインキ
機能性材料	インクジェットインキ、トナー、カラーフィルター用顔料分散液、機能性コーティング剤

２．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第２四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日)

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	印刷インキ・機材(日本)	印刷インキ(アジア)	印刷インキ(北米)	印刷インキ(欧州)	機能性材料	計				
売上高										
外部顧客への売上高	30,141	6,568	12,792	2,742	3,149	55,394	3,434	58,829	―	58,829
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	0	643	6	58	721	1,969	2,690	△2,690	―
計	30,154	6,569	13,436	2,748	3,207	56,115	5,403	61,519	△2,690	58,829
セグメント利益	1,713	260	171	104	227	2,477	33	2,510	60	2,570

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成品事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額60百万円には、セグメント間取引消去162百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△102百万円が含まれております。全社費用は、主に関係会社に対する役務提供費用であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第２四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

（追加情報）

第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

（参考）

前第２四半期連結累計期間の事業の種類別セグメント情報の事業区分を、新セグメントに組み替えると、以下の通りとなります。

前第２四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	印刷インキ・機材（日本）	印刷インキ（アジア）	印刷インキ（北米）	印刷インキ（欧州）	機能性材料	計				
売上高										
外部顧客への売上高	30,081	5,527	12,507	2,518	2,510	53,144	3,286	56,430	―	56,430
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	0	587	―	60	660	1,843	2,504	△2,504	―
計	30,093	5,527	13,094	2,518	2,571	53,805	5,129	58,935	△2,504	56,430
セグメント利益又は損失（△）	1,333	367	35	△126	△327	1,282	△4	1,277	32	1,310

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。